

文田60キロ級「金」

レスリング男子

ダグレコ勢40年ぶり



【パリ共同】パリ五輪第12日の6日、レスリング男子グレコローマンスタイル60キロ級の決勝で文田健一郎(28)が曹利(中国)を破り、金メダルを獲得した。男子グレコの日本勢の優勝は1984年ロサンゼルス五輪52キロ級の

宮原厚次以来40年ぶり。山梨県出身。豪快な反り投げを得意とし、2017、19年世界選手権制覇の軽量級第一人者。優勝候補として臨んだ21年東京五輪は銀メダルに終わり、雪辱を期したパリで勝負の頂点に立った。

【文田健一郎の話】3年前の東京五輪の決勝のことをすごく思い出した。(この3年間は)経験したことのないような苦しい期間もあったが、それと同じくらい楽しいこともあった。トータルしてプラスが上回ったので、今回優勝できたのかなと思う。(詳細は8日付朝刊で)



レスリング男子グレコローマン60キロ級で金メダルを獲得した文田健一郎(共同)



レスリング男子グレコローマンスタイル60kg級

文田健一郎 ふみたけんいちろう

2017年世界選手権59kg級、
19年60kg級優勝。22年3位、
23年2位。東京五輪銀メダル

- 1995年12月18日生まれ(28歳)
- 山梨県出身
- 身長168cm

